

昔の浅羽へタイムスリップ

6月6日、浅羽東小学校6年生60人が地元の歴史を学習しました。総合学習「浅羽歴史探検」の一環で行われ、グループに分かれて、学校近くの史跡やお寺を訪問しました。地域の歴史研究会の皆さんが、各施設

設についての歴史や文化などを説明。児童たちは、真剣な表情でメモや写真をとりながら「知らないことがたくさんあったけれど、昔の浅羽のことが分かってとても楽しかったです」と話していました。



心ゆたかな人づくり

6月16日、月見の里学遊館でシンポジウム「しずおか学舎in袋井市民の“共育”力」を行いました。「地域で輝く！子どもと創年」と題して聖徳大学教授の福留強さんが講演。地域のために自らの力を発揮して創造的に生きる大人を創年と呼び、地

域の子どもとともに力を発揮することが大切だと呼び掛けました。また、パネルディスカッションも行われ、会場を訪れた皆さんは、真剣な表情で「心ゆたかな人づくり」について考えていました。



絶対に火遊びはしません!

6月11日、袋井北小学校で3年生20人が出席して、少年消防クラブ編成式が行われました。

制服とヘルメットを身に付けた児童たちは、消防員から手帳とバッチを受け取ると、「火災予防を学び、火遊びはしません」など、防火の誓いを立てました。

袋井西小学校・浅羽東小学校・浅羽南小学校でも編成され、防災や救急訓練、消防署での体験学習を通して火災予防を学んでいきます。



地球の未来のために

6月2日、中央公民館で環境月間県民大会が行われました。

浅羽中学校の生徒が、環境教育で取り組んだ実践報告を行い、「一人ひとりが環境問題を意識すれば地球環境の保全につながる」と訴えました。

また、市内の企業による活動事例の報告も行われ、訪れた皆さんは今後の地球環境について真剣に考えていました。



統合簡易水道通水式

6月2日、笠原水源池で笠原地区統合簡易水道施設通水式が行われ、新たな水道供給施設の完成を祝いました。

笠原地区の水道は、これまで1つの公営簡易水道と8つの私設簡易水道により運営されていましたが、私設簡易水道の老朽化に伴い、公営簡易水道への統合工事を進めてきました。

笠原地区の皆さんに安全で安心な水道水の供給を行っていきます。

